

連凧に願いを込めて

2/19 [Fri]

東原庫舎東部校で、卒業を目前に控えた9年生28人の目標達成と幸せを願って、連凧あげを行いました。連凧は、平成8年から毎年開催している伝統行事で、今年で26回目。当日は生徒と保護者、教諭らが参加し、「志」や「努」、「夢」などの漢字を凧にしたためました。

参加した生徒は「試行錯誤した甲斐あって、みんなの思いを込めた連凧が空高く飛んだので嬉しかった」と話しました。



協力し合って82枚が連なった凧をあげる生徒たち

多久市7位大躍進の県内一周駅伝

2/19 [Fri]

最優秀選手賞と区間賞に輝いた出雲選手



第61回郡市対抗県内一周駅伝大会（主催：佐賀新聞社、一般財団法人佐賀陸上競技協会）が開催され、県内の13チームが健脚を競いました。

今回は新型コロナウイルスの影響で1日のみの縮小開催でしたが、多久市チームは前回から順位を4つ上げて7位と躍進し、46年ぶりの1桁順位となりました。また、11区で快走し区間賞となった多久市チームの出雲一真選手（株式会社戸上電機製作所）が最優秀選手賞に輝きました。

3月7日(日)に多久市中央公民館で行った選手団報告会で出雲選手は「故障していた足を気にしながらも、1区からの良い流れのまま走り抜けることができてよかった」と喜びを話しました。

スタート地点の基山町役場前を走り抜ける選手たち



報告会で多久市チームはさらなる飛躍を誓いました

あじさい文化祭

2/21 [Sun]

多久市児童センターあじさいで「2021あじさい文化祭」が行われ、市内在住の130人の子どもとその保護者が集まりました。

今回は新型コロナウイルス感染防止のため事前予約制にし、入場制限も適宜実施。来場者はリズム遊びや陶芸教室などの体験活動を楽しみました。

参加した児童は「バルーンアートがとても楽しかった。またやってみたい」と作品を見せながら話してくれました。



講師からバルーンアートの作り方を学ぶ参加者